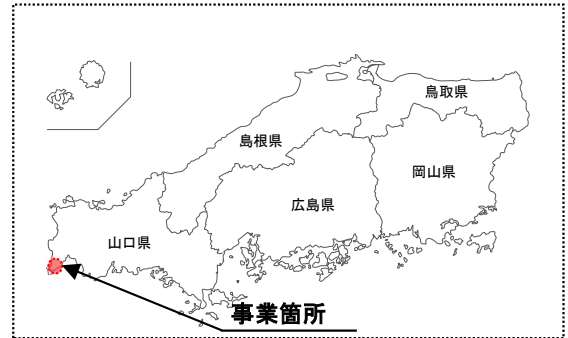


新規着手

1. 事業の必要性及び概要

当該区間は、長府トンネルの老朽化に加え、周辺に土砂災害特別警戒区域が存在していることや事故による通行規制の多発など、当該地域が抱える複合的な交通課題の解消を目的とした延長1.0kmの道路です。

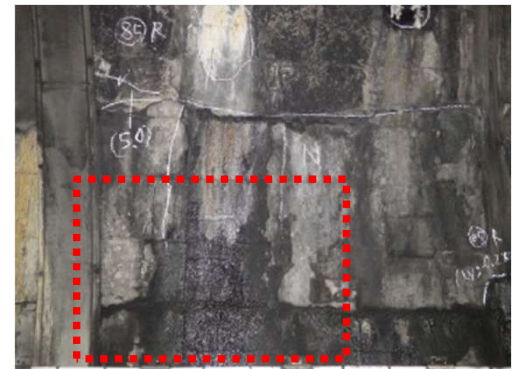
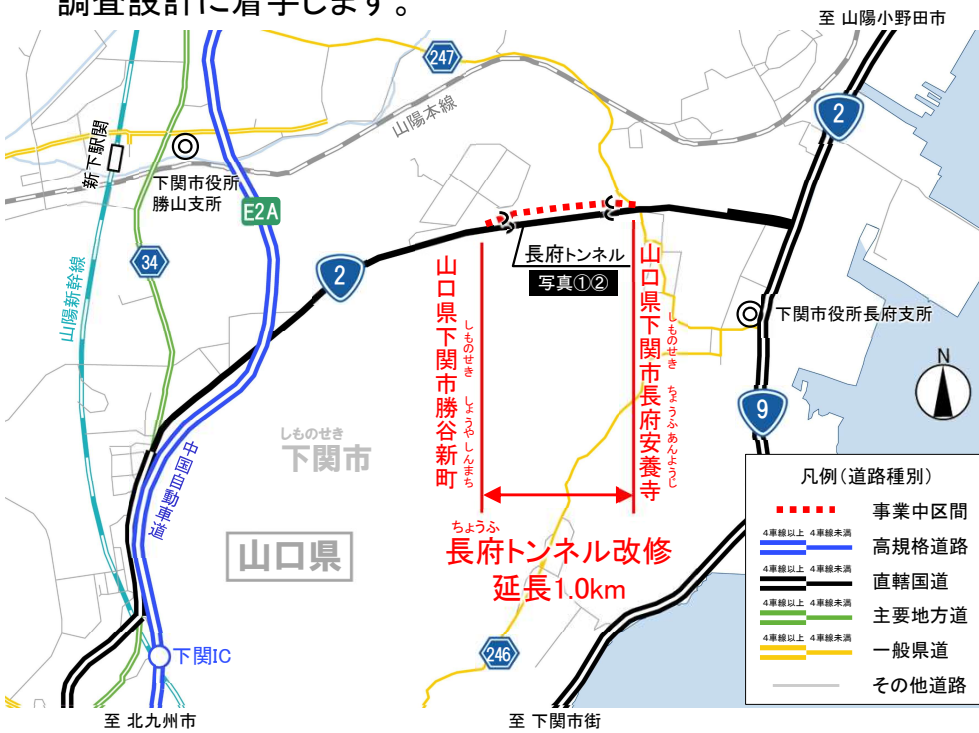


2. 事業箇所

山口県下関市長府安養寺～下関市勝谷新町

3. 令和8年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



【写真①】トンネルのひび割れ、漏水状況



【写真②】交通事故の状況

4. 期待される整備効果

交通インフラの強靱化

当該区間は、長府トンネルの老朽化に加え、周辺に土砂災害警戒区域が存在しているだけでなく、長府トンネル内では事故による通行規制も多発しています。また、大雨等の影響により周囲の中国自動車道や国道9号が通行止めとなった際は、代替路として当該区間が非常に混雑します。

長府トンネル改修により、通行規制の影響が低減し、交通インフラの強靱化が期待されます。

